

「時代を見る眼、時代を超えるもの」

今年になって何回話題に上ったことでしょうか。ヨーロッパや中東、アジアなどでイスラム原理主義の考えに影響された人々によってテロが頻発しています。世界各地で民族の対立で紛争が起こっています。また私たちの今住んでいるアメリカでも、人種の間での対立が広がり、平気で人種や宗教、民族についての偏見に基づいた差別発言をポンポンするような人が大統領候補になるようなことが起こっています。インターネット上の近隣諸国の人々を見下すような日本からの書き込みには目を覆いたくなります。そして、最近日本のニュースで取り上げられている障害を持つ方々に対する無理解。本当に私たちの愛する日本やアメリカは、そして、この世界はどうなってしまうんだろうかと思わされます。

今から二十数年前、私が牧師になるための訓練学校であった東京聖書学院を卒業した時は、時代が昭和から平成に変わり、ソビエト連邦崩壊の前夜、ベルリンの壁が崩壊した直後でした。世界が大きく変わっていくの中で、やはり「これからどうなっていくのだろうか」と思わされたことを思い出します。

まもなく15年目を迎えますが、あの9-11の時もそうでした。平和だと思っていた世界、しかし、その日、私たちはその平和は単に表面的なものでしかなく、世界の一部の人々の中には怒りや恨みが渦巻いており、互いの違いに対して寛容に見えたアメリカ社会も、一旦攻撃を受けたならば、全く違う色に染まってしまうのだと思い知らされました。その時にも「これから世界はどうなってしまうのだろうか」と思わされていました。

聖書の記者たちは、いつもその時代の中で、時代をしっかりと見据えて、そこに神からのメッセージを語りました。時代をしっかりと見据えながら、しかし、語るべきことは神に求め、神から与えられて語ったのです。

私たちもこの時代の中で、この時代と無縁に、超越して生きていくではありません。この時代の中に生きていくのです。時代の恩恵とも無縁ではありません。しかし、それでもなお、時代を超えて、時代と戦いながら生きていくのです。

ですから、私たちには基準が必要です。私が一番お世話になった恩師は「どうして中心を決めないで円を描こうとするのか？」とよく言っておられました。どんなに精巧なコンパスでも中心を決めなければ円を描くことはできません。どんな時代にあっても変わらない中心、どんな状況にあっても動かない中心が必要です。神の言葉である聖書が私たちの中心です。聖書に聞いて、そこから語られて、そして、今の時代の中にメッセージを持って出ていきましょう。

「天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。」マタイ 24:35

「The Brave 教師に導かれて」

大川総代

ニュージャージー日本語キリスト教会で「主にある家族」としてお付き合いくださり、数え切れないほどの祈りと助けと励ましをくださった皆様へ、心より感謝申し上げます。

7月初めにカリフォルニアへの引越しを無事に終え、今ニュージャージーでの教会生活を振り返り、特に強く神様の導きと訓練を感じました「The Brave (教会学校)」の教師というご奉仕についてお証しさせていただきます。

「受けるより与えるほうが幸いです。」(使徒行伝20章35節)このみ言葉に励まされ、2009年の9月から The Brave 教師の奉仕に立ちました。しかし当初は、私の中に教師としての「自信」などは全くなく、聖書のお話やみ言葉の意味をどのように子供たちに伝えたらよいのか、毎回悩みの連続でした。

聖書の中に、イエス様のもとに5千人が集まるシーンがあります。「どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか。」と問うイエス様に対し「ここに少年が大麦のパンを五つと小さい魚を二匹持っています。しかし、こんなに大ぜいの人々では、それが何になりましょう。」と答えた弟子の言葉はそのまま私のつぶやきでした。「この小さき者に一体何ができますか？」と。このような信仰が浅かった私に対しても、主は「それをここに持ってきてなさい」(マタイ14章18節)と言われ、忍耐強く私を導いてくださいました。

月1回の The Brave & BIG 教師のミーティングである「教師会」に集い初めた頃を思い出します。みことばシェア(お証)、祈りの時、カリキュラム確認と続き、子供達のための様々なイベントについて毎回真剣に話し合い、神様の導きを求めつつ、意見を交わす、その確立した体制や熱意ある先生達の祈りに「教会の子供達は実に恵まれている」と感心したことを覚えています。

教会学校の教師がひたすら祈ることは、教会へ来ている子供達が神様の普遍の愛—無限であり無償でいただける、優しく強い「神の愛」を知ることです。聖書にはこう書かれています。

「愛は神から出ているのです。…私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるので。」(第一ヨハネ4章7-10節)

さらに現代の複雑な社会の中で、思春期の子供達が不安・混乱・矛盾、心の葛藤などを経験していく時にも、神様に依り頼み、善悪を見極めて誘惑をはねのける力、問題を解決していく力、希望を失わず生きる力が神様から与えられていくことです。

「見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」（箴言4章22-23節）

この「いのちの泉」とは、決して渴くことのない水があふれる所ですが、ある日ふと「教師会」が私にとっての「いのちの泉が湧く所」になっていることに気がきました。毎日3歳と5歳の子供の世話で忙しくしていた私に「教会学校教師」という奉仕が与えられたのは、実は「神の前に静まり、祈りの時を持ちなさい」との主の招きだったのです。聖書を開き、み言葉に親しみ、心を一つにして祈り合うことこそ、当時の私にとって必要なことでした。主を身近に感じながら、私はいつも平安を得ることができました。

教会学校では一年を通して様々な活動があります。毎週日曜日の The Brave の礼拝に加え、主の復活を祝う Joy Joy イースター、主の御降誕を祝う Joy Joy クリスマス、夏の一大イベントである Joy Joy キャンプ etc…。これらを担っていくため、プログラムを組み、準備に時間を割き、人々に仕えていく、それはまた自分を犠牲にすることでもあります。体と心が疲れた時に、繰り返し私の心に響いていたのは「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」（マタイ6章33節）というみ言葉でした。

そしてこのみ言葉は、ニュージャージーの教会での最後の礼拝で我が家の子供達が洗礼を授かった瞬間に成就したのです！同時にこの洗礼の恵みは「奇跡」でもあります。子供達の「神様の子とされて歩みたい」「錦織先生から洗礼を受けたい」との思いが現実になされたからです。一年前にも6ヶ月前にもこのようなことは考えられませんでした。今、子供達の心の中に確かに教会で培われた神様の愛、聖書の一つ一つのお話やみ言葉、神様の子供とされた喜びが着実に育っています。錦織先生、教師の皆様、教会の皆様の愛とお祈りに深く感謝するとともに、主が与えてくださった恵み、み言葉の確かさを覚え、救い主、主をほめ讃えます。

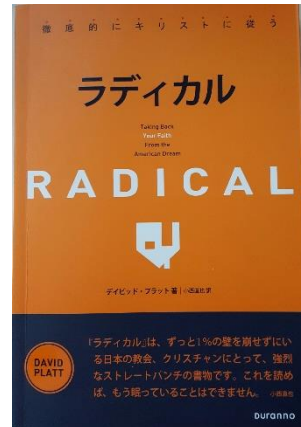
「教会学校の教師」という重荷を用いて、主は確かに私の霊性を整え、信仰を鍛え、教会に来る子供達への愛情を増してくださいました。そして子供達の中にある純粋さ、素直さをみるたびにいつも心に語られたのは、イエス様のこのみ言葉でした。

『子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。』（マタイ 19章14節）

*** 教会図書紹介 ***

「ラディカル～徹底的に従う」（図書番号 709）

著者：デイビッド・プラット 翻訳：小西直也
発行：Duranno（ツラノ書院）



オレンジ色の表紙、帯にかかれた挑戦的な推薦文。「『ラディカル』は、ずっと1%の壁を崩せずにいる日本の教会、クリスチャンにとって、強烈なストレートパンチの書物です。これを読めば、もう眠っていることはできません。小西直也」無性に読書欲をかきたてられて、いつもの書店に1冊注文を入れました。アメリカでは発売直後から大反響をよんだミリオンセラー。日本で

は、5年かかってようやく日本語訳が出た話題の本とあって、在庫切れ。やむなく1ヶ月ほどたって届いた同書を、弾む気持ちをおさえながら読みました。

著者であり牧師でもある（現在は宣教団体 International Mission Board のプレジデント）プラット師が声だかに呼びかけるのは、「主イエスの弟子になること」です。イエス・キリストを主と仰ぎ、聖書の教えに従った生活や言動をするように勧めています。ただ、それを「ラディカル」と求めている。訳者は文脈によって「徹底的な、革新的な、根本的な、圧倒的な、極端な、根底」と置き換えています。今までの考えを打ち破り、レベルの違う従い方をするよう求めているのです。

プラット師は「一年間の実験」と題して、ラディカルに従う具体的な方法を5つ提示しています。

1. 全世界のために祈る。
2. 聖書を通読する。
3. 自分のお金を特定の目的（チャリティーなど）のために使う。
4. 一定の期間を別の場所（ボランティア活動など）のためで過ごす。
5. 信仰共同体（教会）が広がっていくように自分の生活をささげる。

もともと、超大国として豊かさを享受してきたアメリカのクリスチャン向けですので、敗戦を味わい近年も震災や津波で打撃をうけたばかりの日本を思っ読むと、やや温度差を感じますが、溢れるものの中で暮らし、なに不自由のない生活こそ「恵み」と、そこで信仰の求めを留めてしまいがちな今の時代に覚醒的な一冊です。（Y.K.）

*** お知らせ ***

- ❖ 9月のマンハッタンオアシスは、244 Rehearsal Studio (244 West 54th Street [Broadway と 8th St.の間], 10th Floor) の Kirov Recital Hall でファミリーキャンプ講師の黒田禎一郎先生をお迎えして特別集会が持たれます。新しい方にもわかりやすいお話をさせていただきますので、お誘い合わせの上、ご参加ください。
- ❖ 9月3日(土)～5日(月)はアメリカ東海岸の日本語教会が一同に集まる東海岸日本語教会合同ファミリーキャンプが持たれます。9月4日の礼拝はファミリーキャンプでの礼拝に合流致しますので、Maywood の教会では持たれません。ご注意ください。
- ❖ 7・8月は夏休みだった Ridgewood 聖書を読む会、JOY JOY キッズクラブ、JOY JOY シンガーズの練習が再開しますので、お集まりください。
- ❖ 10月29日(土)午後4時より、「ギョーザ・バレー大会」が持たれます。お誘い合わせの上、ご参加ください。
- ❖ AmazonSmile (amazon.com で買い物とをする時に指定の Charitable Organization に買い物額の 0.5%の寄付ができる シ ス テ ム) に JCCNJ の ア カ ウ ン ト (<https://smile.amazon.com/ch/36-3636466>) が設定されました。Amazon.com でお買い物の際には寄付先として JCCNJ をご指定いただければ幸いです。
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ 日曜日礼拝前の 12 時 45 分から、子どもたちのための The BRAVE、中高生のための B.I.G.、英語での成人科バイブルスタディーに加えて、「祈り会」を持っています。礼拝のために、また互いのために祈る集まりです。また、礼拝堂入り口のロビーでは牧師が新しい方々をお迎えしたり、質問のある方や個人的にお話をしたい方々とお話をさせて頂く、自由に立ち寄れるテーブルを持っています。ぜひ、おでかけください。
- ❖ JCCNJ では郵送版に加えて、内容は同じですが、E メールでの PDF 版の月報も発行しています。郵送から E 月報への切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.org までご連絡ください。なお、E 月報にご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、E お知らせをお届けします。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号 021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金: 1085665 です。

*** 報告 ***

- ❖ 6月26日(日)の礼拝で大川智恵子姉・大川愛実姉が洗礼を受けられました。おめでとうございます。
- ❖ 6月26日(日)の礼拝で、内山のぞみ姉・千代崎萌子姉の転入会式が持たれました。感謝します。
- ❖ 長い間ともに教会生活を送ってきた、大川ファミリーは6月末にカリフォルニアに、鬼頭姉は7月末に日本に、ホワイト姉7月末にカリフォルニアに、それぞれ転居されました。新しい地での歩みにも多くの祝福がありますようお祈り致します。
- ❖ 7月31日の礼拝では、長らく日本での宣教の働きをされているポール・鈴木宣教師とそのご家族が当教会をご訪問くださり、礼拝メッセージと宣教報告をしてくださいました。
- ❖ 今年もたくさんの方々のご協力を得て、祝福のうちに Joy Joy キャンプが持たれました。46名のこどもたちが参加して、楽しく5日間を過ごしました。続けてこどもたちが聖書の教えに触れることができるようお祈りください。



- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は 2016年 7 月末時点で\$560,741.93、日本円 ¥90,761 です。各地からご献金下さっている皆様に心から感謝申し上げます。



Japanese Christian Church of New Jersey
ニュージャージー日本語キリスト教会

120 East Pleasant Avenue
Maywood, NJ 07607
USA

教会: 201-712-9833
牧師: 201-251-7977
HP: jccofnj.org
牧師メール: pastorjccofnj@gmail.com

2016年9・10月号 月報

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					19:15 マンハッタン オアシス 特別集会 (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)	
4	5	6	7	8	9	10
東海岸合同ファミリーキャンプ Maywoodでの礼拝は ありません		*	10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日			15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)
11	12	13	14	15	16	17
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 聖餐礼拝(錦織師) BRAVE教師任命式	*		牧師面談日 (NY)	16:00 JoyJoyキッズクラブ in Leonia 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (澤田宅) 15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)	
18	19	20	21	22	23	24
11:45 祈禱会 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会	東海岸 日本語教会 牧師会	*	10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズクラブ in Maywood (通常第2週から 変更)		15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)
25	26	27	28	29	30	10/1/2016
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		牧師面談日 (NY)			15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 聖餐礼拝(錦織師)	*		10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日		10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (原田宅) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)	15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)
9	10	11	12	13	14	15
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会	*		牧師面談日 (NY)	16:00 JoyJoyキッズクラブ in Maywood		15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)
16	17	18	19	20	21	22
11:45 祈禱会 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		10:30 クロッキー教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズクラブ in Leonia 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (澤田宅) 15:30 JoyJoyシンガーズ (教会)	
23	24	25	26	27	28	29
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師)	*		牧師面談日 (NY)			16:00 餃子バレー大会 (教会)
30	31					
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブルクラス / 祈り会 The BRAVE/B.I.G. (教会学校) 13:30 主日礼拝(錦織師)	*					

* 牧師休日